

太陽光発電による農業後継者の教育の環境整備への活用



発電施設の外観

- ・生産拡大
- ・6次産業化等の農業生産投資



地元高校への
実習環境整備費用

＜概要＞

- ・ 事業実施主体：有限会社とまとランドいわき
(福島県いわき市)
- ・ 発電設備：太陽光発電
発電出力 558kW (固定式 ※)
413kW (自動追尾式)
発電電力量 約130万kWh/年
- ・ 建設費：1億9千円 (固定式)
2億1千万円 (自動追尾式)
- ・ 運転開始時期：平成26年10月

＜特徴＞

- ・ 事業費の一部は、収益納付型の補助事業を活用し、残額は自己資金で対応。
- ・ 売電収入は、
 - ① 太陽光パネルの下で栽培する農作物の資金等、新たな農業投資に回すことにより農業の活性化を図る。
 - ② 一部を地元県立磐城農業高校の実習環境整備費用とし、次世代の農業者育成を図る。
- ・ さらに、J R 東日本と連携し農業法人「(株) J R とまとランドいわきファーム」を設立。平成28年度から太陽光利用型植物工場でトマトを栽培し、首都圏の J R 東日本グループの外食産業や隣接する6次産業化施設で活用。

※地域還元型再生可能エネルギーモデル早期確立事業 (H24) において支援